

○井神議長 通告1番目、2番、宮本要代議員、発言席から総括方式で質問願います。
宮本要代議員。

○宮本議員 おはようございます。

2番、宮本要代です。議長の許可を得ましたので、総括方式で一般質問をします。

ことしの夏も暑さが厳しく、誰と合っても「暑いな」が挨拶がわりでした。最近
は朝夕少し涼しくなりましたが、まだまだ残暑厳しいものがあります。ことしから
小学校の運動会が残暑厳しい2学期から春に変更され、よかったのかなと思いま
した。保育所や学校においては、水分補給や教室の通風など、先生方から細心の注
意を払っていただいていると思いますが、岩出市の保育所、学校への熱中症対策はど
のように取り組まれているのか、お聞きをします。

この暑さで熱中症で救急搬送される報道や体育館で熱中症になったニュースを聞
きます。熱中症は激しい運動によって、体内に著しい熱が生じたり、暑い環境に体
が十分に対応できない結果、引き起こす可能性があると考えられます。

その熱中症対策に効果があるとして、ミストシャワーを採用しているところがふ
えてきています。ミストシャワーとは、水を微細なミストの状態にして噴霧し、水
が蒸発する際に気化熱を吸収する効果を利用して、その空間の気温を下げ、冷却す
る仕組みです。太陽光線が強い時間帯に散布をすることで、湿度を上げることなく
冷却を行うことができるミストは、暑い時間に使ってこそ効果的と言われています。
気化熱によるエコ生活の提案として、ミストシャワーを導入している和光市は、電
気を使わず最大3度C温度が下がり、1時間の水量は13.8リットル、約3.5円と報
告しています。ちなみに、水洗トイレは1回当たり15リットルの水の使用量です。

昨年からは有田市がミストシャワーが熱中症対策に効果があるとして、市内中学校
で採用され、生徒から喜ばれているようです。ほかにもテレビなどで、催し物にミ
ストシャワーが使用されているのも見かけることもあります。

熱中症対策の1つとして効果があると思われるミストシャワーを導入するお考え
がありませんか、市のお考えをお聞きします。

2点目は、大宮緑地総合運動公園に植樹をしてはどうか、お尋ねします。

大宮緑地総合運動公園は、テニスやサッカー、陸上の練習や大会などに活用され
ていますし、夏まつりや市民運動会に大勢の方々が集われ、にぎわいを見せていま
す。大宮緑地総合運動公園に植樹をしたらどうかのお話を市民の方からお聞きし
ます。1つは、日影が欲しい。もう1つは、美観の点などから、桜などの木を植え
てはどうかということです。

9月4日、岩出市の防災訓練の日でした。職員の皆様、訓練に係る皆様、大変ご苦労さまでした。天気予報が外れ、晴天になって暑さが厳しかったですが、運動場の大きな木の陰に入ると、汗がすうっと引き涼しかったです。改めて木陰のありがたさを感じました。木の葉っぱは日射を遮ってくれるだけでなく、葉っぱが蒸散作用などにより、暑くならず、路面の高温下も防ぐため、ひんやりとした空間を形成します。大宮緑地総合運動公園は日影になる木はありません。大きな木が1本あるだけで憩いの場ができます。植樹を考えてはどうか。

また、紀の川堤防はサイクリング道路になっていますし、また、自分の運動のためのウォーキングを堤防でする方も見かけます。そういった方々に満開の桜は大変赴きがありますし、ツツジやアジサイといった花も赴きがあります。日影となる点と美観の点から植樹することについてどうか、お考えをお聞きします。

3点目は、第11回岩出マラソンにトップアスリートを招待してはどうかについてお尋ねします。

孫たちは、他の自治体が主催するマラソン大会にも参加する機会がありますが、招待選手があると楽しみが倍増するようです。前もってわかっていると、さらにテンションが高くなるように思います。健康に対する意識や関心も高まり、マラソン大会参加者も他府県からも増加傾向にあるのではないのでしょうか。市制施行10周年の記念として、トップアスリートを招待しての開催を願うものですが、市のお考えをお聞きします。

4点目は、乳がんグローブについてです。

10月はピンクリボン月間であり、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期発見を推進することなどを目的として、世界規模で啓発キャンペーンが行われます。乳がんは、現在、日本人女性12人に1人が発症しますが、早期発見により90%の治癒率だと言われています。市では、検診の受診勧奨を行うなど検診率向上に向け努力をされていますが、がん対策推進基本計画において、がん検診の受診率の目標が50%以上と掲げられていると記憶していますが、岩出市は乳がん検診の受診率の目標をどのように置かれているのでしょうか。

乳がんは、自分で発見できる唯一のがんであるため、市役所やあいあいセンターを初め、さまざまな場所で自己触診のチラシを張って啓発に努めておられます。1カ月に一度の自己触診と1年に一度の定期検診が早期発見につながります。自己触診は素手で行うのですが、今、素手でさわるより感度が高く、異常が発見しやすいと期待されているのが乳がんグローブです。

埼玉県朝霞市では、がん検診や市が開催する健康まつりなどのイベントでこの乳がんグローブを配布し、自己触診の啓発に努めています。朝霞市の健康づくり課の課長さんは、月1回のチェックが理想であり、このグローブをきっかけに乳がんの早期発見のチャンスをつくってほしいと呼びかけています。

岩出市では、この乳がんグローブの活用について、どのように考えられているか、お聞きをします。

○井神議長 ただいまの質問に対する市当局の答弁を求めます。

生活福祉部長。

○山本生活福祉部長 おはようございます。

宮本議員ご質問のまず1番目、熱中症対策についての保育所の熱中症対策とミストシャワーの設置について、一括してお答えいたします。

保育所における熱中症対策といたしましては、水分を小まめにとらせることや戸外遊びにおいては気温の低い午前中に実施し、プールやシャワー遊びも取り入れております。また、運動会の練習につきましても同様に、小まめな水分補給の実施や遊戯室の利用、戸外の練習は午前中に実施し、園庭への放水も行っております。ほかにも、午後の暑い時間帯は、保育所の全室に整備している空調設備のもとで保育を行うなど、熱中症対策に万全を期しております。

さらに、子供一人一人の状態を細かく観察するとともに、年児に合わせた検温の実施や送迎の際に保護者から健康状態の聞き取りを行う等、健康管理の徹底に努めているほか、遊びや食事を通じて、暑さに負けない体力づくりにも努めております。

したがいまして、現時点ではミストシャワー設置の考えはございません。

続きまして、ご質問の4番目、乳がん早期発見についての1点目、がん検診受診率の目標についてと、2点目、乳がんグローブについてを一括してお答えいたします。

乳がん検診受診率の目標につきましては、平成26年度実績の29.3%を踏まえ、平成28年度の目標を30%としております。

乳がんグローブにつきましては、自己触診に際して、手・指の感度を高め、異常が感じやすくなることが期待できるものと聞いております。しかしながら、啓発物資としては、高価であり、市の取り組みとしては考えておりません。

以上です。

○井神議長 教育部長。

○秦野教育部長 おはようございます。

宮本議員ご質問の1番目、熱中症対策について、小中学校に関連して、一括してお答えいたします。

小中学校における熱中症対策としましては、特に気温が上がる夏季には、教室へのよしずの設置や扇風機などの空調設備を活用し、熱中症対策に取り組んでいます。また、熱中症を予防するため、体育などの運動時の授業だけでなく、小まめな水分補給や適度の休息をとることなど、教職員が学校医等から予防対策などについての研修を受けてございます。そのほかにも、小中学校ともに、5月上旬から緊急時の経口保水液などを常備するとともに、日本体育協会による熱中症予防の運動指針を参考に、熱中症の危険度をわかりやすいマークで表示し、児童生徒に注意を呼びかけるなど、熱中症対策に万全を期しております。

したがいまして、現時点ではミストシャワーの設置の考えはございません。

次に、ご質問の2番目、大宮緑地総合運動公園に植樹をについて、一括してお答えいたします。

大宮緑地総合運動公園は河川敷に位置しているため、国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所から、スポーツ施設として占用許可を受け、多くの方にご利用いただくとともに、岩出の夏まつりや市民運動会などのイベント会場としても活用しています。

大宮緑地総合運動公園の緑化についてですが、これまでの市政懇談会でも同様のご要望をいただいております。国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所船戸出張所に確認し、国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所が定めている計画降水流量よりも土地が低い位置にあり、緑化の申請を行っても厳しい制約があるとのことであったので、木を植えることができないとの説明を行っています。

ことしも東日本で、台風による大雨で多くの河川が決壊しているニュースが報道されており、和歌山県においても、平成23年の台風12号による紀伊半島大水害も記憶に新しいものとして残っています。

こうしたことから、水流を妨げるおそれのある当該施設の緑化の考えは、現時点ではございません。

続きまして、ご質問の3番目、市制施行10周年記念として、トップアスリートを招待してはについてお答えいたします。

岩出マラソン大会は、「早春の根来寺を快走」をキャッチフレーズに、毎年3月の第2日曜日に開催しています。参加申し込みは例年3,000名以上あり、県外からも多くの方に参加いただき、岩出市を広くPRする絶好の機会と捉え、参加してよか

ったと思っただけのような大会運営に努めているところであります。

また、以前より北京オリンピック陸上男子400メートルリレーのエースであり銅メダリストの朝原宣治氏が主宰するノビー・トラックアンドフィールド・クラブより、一般15キロ、一般5キロの参加者にTシャツとファミリーの部を除く18種目の1位から3位の方々にフェースタオル等の提供をいただき、好評を得てございます。

なお、このマラソン大会は、実行委員会形式で開催しており、全ての内容は、この委員会でご審議いただいております。今年度は、記念大会ですので、議員のご提案も参考にさせていただきながら、10周年大会にふさわしい内容になるよう、実行委員会で検討していただきたいと考えております。

以上でございます。

○井神議長 事業部長。

○船戸事業部長 おはようございます。

宮本議員ご質問の2番目、大宮緑地総合運動公園に植樹をについて、一括してお答えします。

大宮緑地総合運動公園は、都市公園における都市緑地として位置づけ、開設以来、多くの方にご利用いただいております。

さて、当該公園の植樹についてでございますが、過去に市民からの要望があり、紀の川の管理者である国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所船戸出張所に確認したところ、同事務所が定めている計画洪水流量以下の場所には、桜等の高木の植樹はできないとの回答を得ております。

○井神議長 再質問を許します。

宮本要代議員。

○宮本議員 では、1点だけ再質問を行います。

乳がんグローブの件なんですけど、乳がんにならないようにするにはという問いに対する答えはないそうです。だから、乳がんの早期発見に努めることが重要になってきます。月1回の自己触診と1年に1回のマンモグラフィー等の検査をすることが有効であるということをおっしゃっています。

私も先日行って来たんですけど、50歳、60歳、70歳のご高齢の方に乳がんが発症することが、最近では多くなっているようです。乳がんグローブは、肌に密着性のよい素材を使用して、触診感度を上げる構造になっています。私もインターネットで買ったんですけども。

自己触診に適している乳がんグローブについて、市として推奨することはできな

いか、再度お尋ねをします。

○井神議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

生活福祉部長。

○山本生活福祉部長 宮本議員の再質問にお答えいたします。

議員のご説明のとおり、乳がん、女性の12人に1人がかかるという大変患者数の多いがんとなっております。特に、40代から発症するというところで、比較的若い方が発症されるという問題もあります。早期発見、やはりマンモグラフィーの検診を受けていただく、あるいは自己触診を常にやっていただくということで、早期発見をすると、ほかのがんに比べると予後もいいということで、やはり早期発見が大事であると考えております。

この乳がんグローブが市で推奨することができないのかというところでもありますけども、市といたしましては、1つの企業の製品を推奨するというところではできませんが、がん対策推進企業等連携協定を結んでいる企業に対して発信している情報の1つとして、情報提供することは可能と考えております。

また、今、この乳がんグローブを啓発で使われている埼玉県朝霞市の健康づくり協議会においても、製品が高価であるというところから、ターゲットを絞っていかないとなかなか難しいというような議論をされていると聞いております。このあたり、導入されている朝霞市の状況もまた注視してまいりたいと考えております。

以上です。

○井神議長 再々質問を許します。

(なし)

○井神議長 以上で、宮本要代議員の一般質問を終わります。